



# 地震

## 清水町 湯川地区

### わたしの避難計画 作成ガイド

#### 手順④ 地震・液状化のリスクを確認(記入はありません)

##### ◎湯川地区の地震による危険

震度5強の揺れと、液状化の可能性が想定されています。

##### ◎震度と体感

震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7
大半の人が恐怖を覚え、物につかまると感じる	物につかまらなさと歩くことが難しい	立っていることが困難になる	這わないと動くことができない	耐震性の高い木造建物でも傾くことがある

##### ◎液状化が発生した場合

マンホールなどの埋設物が浮き上がったたり、道路に段差が発生したりする可能性があります。避難する際には足下に注意しましょう。

#### 手順⑤ 大地震発生時の安否確認方法を確認し、記入

##### 大地震発生時

- 体勢を低くし、固定されたテーブル等の下に入り頭を守る
- 動かずじっとする

##### 揺れが収まったら

- ブレーカーを落とす(通電再開時における発火の防止)
- ガスを止める

各地区の一次避難先に集合

##### 自宅に被害があったら

指定避難所へ避難

##### 自宅に被害がなかったら

自宅で待機

山折り

##### ★湯川地区の一次避難先の一例

- 湯川児童遊園地 など

#### 情報収集手段に関する紹介

避難情報や同報無線の放送、避難所の開設が確認できます。



清水町緊急防災メール

避難情報やハザードマップが確認できます。



土砂災害の危険度、河川の様子を確認できます。



#### <目次>

	手順① 家族で避難に時間がかかる人を記入	P1
大雨 河川氾濫 土砂災害	手順② ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入	P2
	手順③ 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認し、記入	P3
地震	手順④ 地震・液状化のリスクを確認(記入はありません)	P4
	手順⑤ 大地震発生時の安否確認方法を確認し、記入	P4

#### <見本>

作成日 2020年〇月〇日 わたしの避難計画 (清水町 〇〇地区)

作成ガイドを見て家族の状況や災害リスクなどを記入しよう!

冷蔵庫や玄関など目につく場所に貼っておこう!

手順① 家族で避難に時間がかかる人を記入

避難に時間がかかる人  いる 1人 → 支援してくれる人の名前  いない

避難先

手順② ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入

河川氾濫の危険  
 浸水なし  
 浸水あり 浸水深 0.5~3.0 m  
 家屋倒壊等氾濫想定区域に  ない /  ある

土砂災害の危険  
 該当なし  
 土砂災害警戒区域  
 土砂災害特別警戒区域

ご自身に必要なものをあらかじめ用意しておきましょう。  
 【持ち出し品リストの一例】

現金・通帳  携帯ラジオ  携帯電話  
 充電器  懐中電灯  マスク  
 飲料水  非常食  着替え  
 常備薬・持病薬  消毒液  体温計  
 その他の持ち物【 1 】

大地震に備え、1週間分の水・食料・生活必需品の備蓄をしましょう!

手順③ 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を記入

大雨  あり /  なし 土砂災害の危険  あり /  なし

●避難のタイミング **高齢者等避難**

●避難先 **叔母の家**

●情報収集手段 **清水町緊急防災メール**

自由記入欄 (連絡先等) **叔母 090〇〇**

手順⑤ 大地震発生時の安否確認方法を確認し、記入

大地震がおさまる

地震  地震

・ブレーカーを落とす・ガスを止める  
 ・窓を開ける

地区の一次避難先 **〇〇児童公園** に集合

自宅に被害があったら 指定避難所へ

自宅に被害がなかったら 自宅で待機

自由記入欄 (連絡先等)

----- ↓手順に従って、「わたしの避難計画」に記入しましょう ↓ -----

#### 手順① 家族で避難に時間がかかる人を記入

- 避難に時間がかかる人がいるかどうか、「わたしの避難計画」に記入しましょう。
- 避難に支援が必要な方は、あらかじめ支援してもらおう方を決めておきましょう。  
 避難支援の相談先：地元の民生委員  
 清水町福祉介護課地域福祉係

# 大雨(河川氾濫・土砂災害)

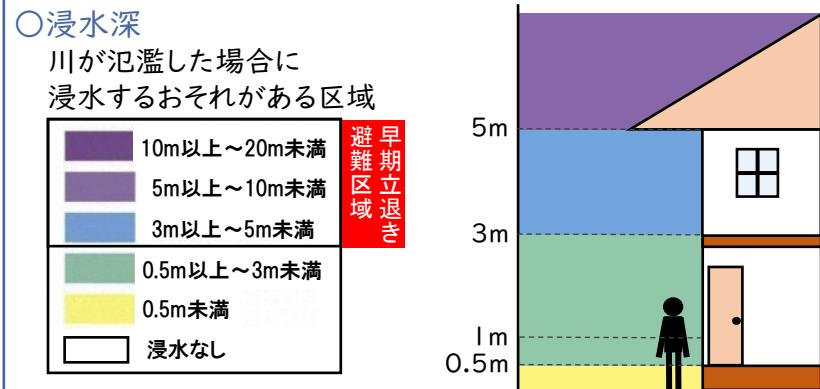
## 手順② ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入

ア 自宅の位置を地図に記入しましょう  
(わかりにくい場合は清水町防災ハザードマップで確認しましょう)

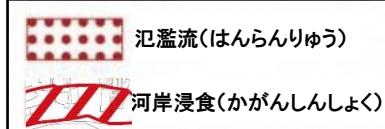


イ 下記の災害リスクを確認し、「わたしの避難計画」に記入しましょう

### 河川氾濫の危険



○家屋倒壊等氾濫想定区域  
川が氾濫した場合に、家屋が流出するおそれがある区域



### 土砂災害の危険

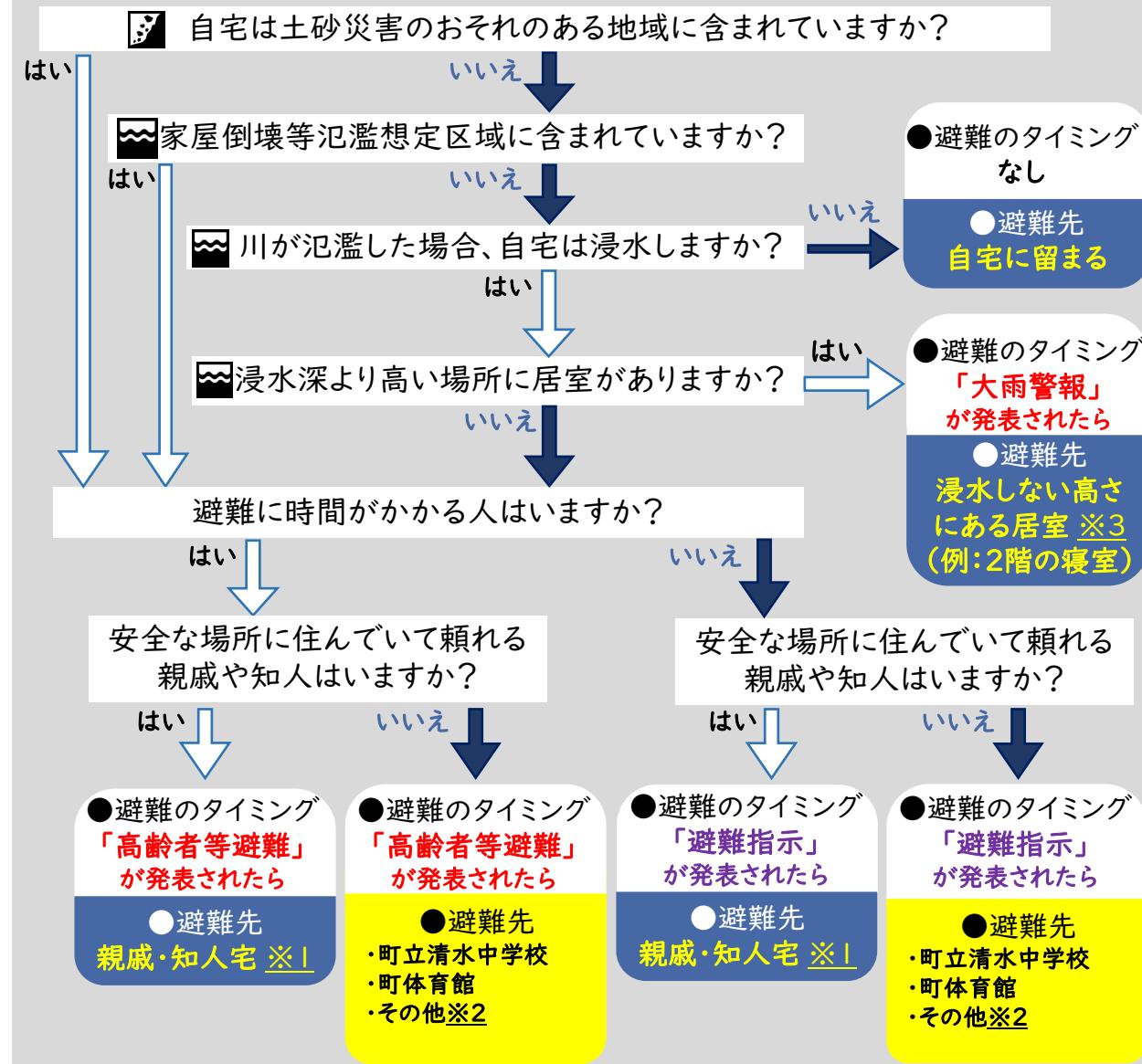
○土砂災害警戒区域  
土砂災害のおそれのある区域

○土砂災害特別警戒区域  
土砂災害が発生した場合、建物の破壊が生じ、住民等の生命や身体に著しい危害が生じるおそれのある区域



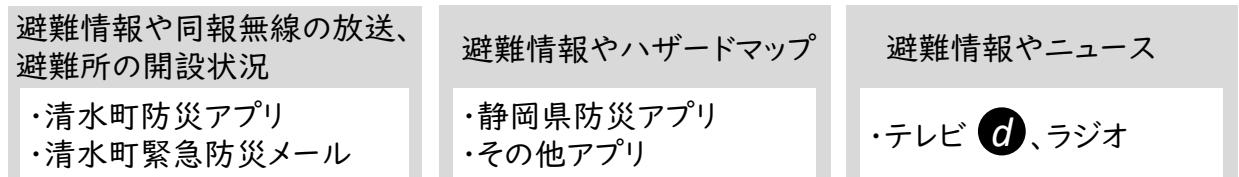
## 手順③ 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認し、記入

ア 避難のタイミング・避難先を決め、「わたしの避難計画」に記入しましょう



※1 親戚・知人宅へは、可能であれば事前に避難するようにしましょう。  
 ※2 ホテルや温泉施設等への避難も避難場所の選択肢の一つです。  
 ※3 水が引くまでの間の「飲み水・食料」や「簡易トイレ」などを準備しておきましょう。

イ 情報収集手段を決め、「わたしの避難計画」に記入しましょう



※町の防災アプリや緊急防災メール、県防災アプリについて、4ページに2次元コードを掲載しています。